

授業科目 心理学

【担当教員名】 高橋 直樹	対象学年	1	対象学科	作業・言語・義肢・スポ・看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修(看)・選択(作・言・義・ス)
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

心理学は、人間の心や行動を理解する学問であるが、医療福祉教育の場で、心理学を学習するときには、2つの目的が考えられる。  
 第1は、学生が自己をよく理解するためである。医療福祉教育を受ける学生が医療福祉に関する職業に適応していくためには、まず、自己自身をよく理解しなければならない。  
 第2は、対象者（特に患者など）の心理をよく理解するためである。対象者に接する場合、対象者の行動・知能・性格・情緒などをよく理解しなければならない。さらに、もっと広くその家族や職場の同僚などとの間の人間関係も理解しなければならない。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 「心理学とは何か」という問いに対して、自分なりの意見を述べることができる。
2. 心理学の研究対象・領域の分類・研究方法について説明できる。
3. 心理学の各論について、要点を理解し、説明できる。
4. 医療福祉に関係した心理学の問題について、説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	講義
2	心理学の問題	2	講義
3	知覚の心理	3	講義
4	記憶の心理	3	講義
5	思考・想像・言語の心理	3	講義
6	知能の心理と知能検査	3	講義
7	学習の心理	3	講義
8	感情・情緒・情操の心理	3	講義
9	適応の心理	3	講義
10	性格の心理と心理検査	3	講義
11	集団の心理	3	講義
12	発達心理	3	講義
13	カウンセリング	3	講義
14	医療福祉と心理学	4	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし（適宜プリントを配布する）。			
参考書	系統看護学講座 基礎6 心理学、辰野千寿、医学書院、1996			
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
定期試験	学生の積極的な授業参加を期待する。
出席状況	遅刻・早退・授業中の私語や飲食などは、大幅な減点対象となる。
受講態度	本講義の学習内容を、医療福祉の現場において活用しようとする姿勢が求められる。